

## 自分でできる範囲を楽しんで活動 麻生多摩美の森の会

### 麻生区市民健康の森

3月18日(日)、小田急線読売ランド前駅北口から、約10分の麻生区市民健康の森を訪れました。

この健康の森を管理しているのが、麻生多摩美の森の会(以降「同会」と略します)です。同会の多摩美の森の家では、井上正樹会長と中谷一郎副会長と



▲多摩美の森の会のみなさん、右が井上正樹さん

勝田佳代子副会長が迎えてくれました。麻生区は市内でも緑地が特に多くあり、市全体の4割を占めている話や同会の歴史や役割等を含

め、活動の様子について伺うことができました。

この日は定例の活動日です。作業を始める前に井上会長の号令に合わせて入念な準備運動がありました。その後、会員のみなさんは下草刈りや溝の清掃等を行っていました。



▲草刈りや溝の清掃作業

井上会長は、会員の高齢化と人員不足に伴い、活動範囲が制限されてしまうので、今後は女子力と学生及び外国人の力をぜひ取り込んでいきたいと話していました。3日後には、外国の方と会って同会の会員入会について話をする約束があるとのことでした。

### 多摩美緑地を後世に残す

同会は、①里山の自然環境の保全と創造(隣接地との調和と雑木林の適正な保全・再生を図る)②市民が潤いと憩いを感じる緑の空間と広場を整備する。③地域コミュニティの構築において、地域との交流を充実させる。また、同会管理の区域を含め、多摩美緑地(約10ha)の緑を管理・保全する5団体と連携して次世代に繋いでいくことを目的にしています。

過去には、何回かの開発計画が持ち上がりましたが、住民の

署名等のおかげで、自然豊かな緑を残すことができています。

同会の会員でもある「多摩美みどりの会」の小座間清次郎会長は、現在多摩美公園になっている北西側には、カントウタンポポと野草園があり、子どもたちの良い遊び場だったことを写真のパネルで紹介してくれました。

### 主な活動内容

毎月の定例作業日は、第1土曜日と第3日曜日の午前中(10:00~12:00)で、会員は34名です。(2018年2月現在)

主な活動内容は、①森づくり:「樹木の間伐・剪定、枯れ木の伐採、樹林の下草刈り、広場の草刈り、植樹、清掃」等。②畑の管理:里芋・ノラボウナ・菜の花(里山の景観)・椎茸の栽培。③施設・工作:管理区域の排水整備、主要栽培物の柵の設置・整備、作業具の手入れ・整備。④広報:活動報告の作成、広報誌「麻生多摩美の森だより」の発行(年3回)、多摩美の森の植物等の各種写真集を制作等、多岐にわたっています。

同会が発行している広報誌「麻生多摩美の森だより」には、活動内容・イベント計画&報告等を紹介しています。また、2016年7月に立ち上げた同会のホームページでは、10周年記念誌(2013年発行)や広報誌のバックナンバーを見ることができます。

昨年(2017)の11月には、「植樹祭・収穫祭(同会主催、4団体協賛)」が復活されて、多くの方々が参加して盛会裏に終えることができました。

また、12月には、(公財)川崎市公園緑地協会主催で Caritas 学園女子中学3年生がクリスマスの奉仕活動で訪れました。シノダケやクズの除去に身体中、汚れながら作業をしていました。中学生からは、「森の作業がこんなにたいへんだとは思わなかった」等の感想がありました。

多摩美の森の家は、年間を通し作業やイベント開催等での活動拠点となっており、大きな役割を果たしています。



▲活動拠点の「多摩美の森の家」

■ 問合せ 井上 正樹さん TEL 090-6019-3788